



2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年4月10日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東
 コード番号 3550 URL <https://www.studioatao.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 (氏名) 山口 敬之 (TEL) 03-6226-2772
 定時株主総会開催予定日 2026年5月22日 配当支払開始予定日 2026年5月25日
 有価証券報告書提出予定日 2026年5月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の業績(2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	4,126	11.6	239	31.1	243	33.0	151	121.4
2025年2月期	3,696	14.0	182	47.6	182	48.8	68	34.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	10.94	—	6.0	7.7	5.8
2025年2月期	4.95	—	2.7	5.4	4.9

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 —百万円 2025年2月期 —百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	3,182	2,586	81.3	186.74
2025年2月期	3,171	2,501	78.9	180.70

(参考) 自己資本 2026年2月期 2,586百万円 2025年2月期 2,501百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	285	△29	△267	1,821
2025年2月期	356	△13	△430	1,832

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	69	101.1	2.8
2026年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	69	45.7	2.7
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00		31.5	

3. 2027年2月期の業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	9.1	330	37.9	335	37.8	220	45.2	15.89

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年2月期	14,037,000 株	2025年2月期	14,037,000 株
2026年2月期	184,796 株	2025年2月期	194,796 株
2026年2月期	13,847,546 株	2025年2月期	13,840,390 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等により、緩やかに経済活動の正常化が進んでおります。一方で、ウクライナや中東情勢悪化による物価上昇、米国金融政策による世界経済の減速懸念等、依然として先行きが見通せない状況が続いております。

このような環境の中、当社は、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引き続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行うとともに、ATAO18周年記念プロジェクトとして投入した「SAFARILAND」シリーズなど、幅広い層へ訴求できる商品ラインナップの拡充を図ることで、新規客や男性客の取込みに貢献しております。また、2026年にブランド設立20周年を迎えることに合わせて展開している限定アイテム「ブロックパーティ・キャンディミックス」シリーズ、「SAFARILANDクラシック・チェス」が好評を得ております。

IANNEブランドで2024年9月に販売を開始したデイリーバッグ「Opera」が引き続き好調に推移しており、ブランド全体の底上げに貢献しております。

また、当社ブランドのオンラインサイトが集積したモール型の新ECサイト「ATAOLAND+（アタオランドプラス）」のほか、「ATAO楽天市場支店」、「アタオYahoo!店」をオープンしたことに伴い、店舗とECのOMOが強化された結果、広告効果の改善とともに全体の売上への好影響が出ております。引き続きプロモーション等を継続し、店舗とECのOMOの一層の推進や当社が展開する各ブランド価値の更なる向上、顧客サービスの強化等を図ってまいります。

IEMERにつきましては、2025年11月より販売を開始したリトルツインスターズ 50周年を記念したコラボレーションアイテムが好評を得ており、ブランドの認知拡大にも貢献しております。

その結果、当事業年度の販売業態別の売上高は、ATAOLAND+及びATAO楽天市場支店の売上増加及び2024年11月に outlet したアタオYahoo!店の貢献等によりインターネット販売が2,143,022千円(前事業年度比20.0%増)となり、また、既存店舗の売上増加等により店舗販売が1,978,184千円(同3.9%増)となりました。

以上により、当事業年度の業績は、売上高が4,126,272千円(前事業年度比11.6%増)となり、ATAOLAND+等に係る販売促進費の継続的な投資を行ったものの売上高が増加したこと等により、営業利益239,296千円(同31.1%増)、経常利益243,174千円(同33.0%増)、当期純利益151,543千円(同121.4%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産については、総資産は3,182,841千円であり、前事業年度末と比較して11,418千円増加しております。主な増加要因は、売掛金が137,621千円増加したことです。

負債につきましては、負債合計は596,105千円であり、前事業年度末と比較して74,034千円減少しております。主な減少要因は、1年内返済予定の長期借入金が198,336千円減少したことです。

純資産は2,586,735千円であり、前事業年度末と比較して85,452千円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金が82,332千円増加したことです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、1,821,493千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得したキャッシュ・フローは285,524千円(前年同期比70,507千円の減少)となりました。これは主に、税引前当期純利益243,174千円の計上による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは29,398千円(前年同期比16,227千円の増加)となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出10,371千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは267,586千円(前年同期比163,132千円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出198,336千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

ECサイト「ATAOLAND+ (アタオランドプラス)」において、顧客獲得コストやリピート率などの指標は継続的に改善傾向にあるものの、旧ECサイトに係る知的財産権及び顧客情報等が旧ECサイトの運営委託先に帰属する契約となっていたこと、また、旧ECサイトの会員に対し、当社ブランドであるATAOと誤認させる類似ブランドの展開により、今もなお問い合わせが発生していること等から、インターネット販売及び店舗販売の再拡大には引き続き販売促進費等の積極的な投資が必要になると考えております。

2027年2月期においては、新規出店や店舗移転、各ブランドの戦略的なプロモーションの更なる強化や当事業年度に発売したヒット商品の定番品化、既存顧客及び新規顧客の双方にアプローチ可能な商品企画等により、ATAOLAND+を中心としたインターネット販売及び店舗販売の一層の拡大を図ってまいります。

また、円安等による資材高騰等が課題となっている中、生産や物流面の見直しによる一層の適正化及び効率化を推進し、お客様に最大限価値を感じていただけるようなモノづくりに集中してまいります。さらに、環境への問題にも配慮しながら、時代のニーズに合わせ広くお客様に受け入れていただけるブランドづくりをより一層強化してまいります。

ILEMERブランドに関しては、ILEMER TOKYO avec le IANNEを移転リニューアルオープンするとともに、引続きサンリオキャラクターズをはじめとするコラボレーションアイテム等の新商品の投入やアメリカを始めとする海外展開等により、売上の拡大を図っていきたくと考えております。

これらを踏まえ、2027年2月期の業績予想につきましては、売上高4,500百万円、営業利益330百万円、経常利益335百万円、当期純利益220百万円を見込んでおります。

売上高の予想値は、各ブランドのインターネット販売及び各店舗販売等の積上げにより策定しております。また、当社では一定の季節変動があること及びインターネット販売におけるプロモーション戦略等の影響により業績が変動する可能性があることから、これらの傾向等を踏まえて予算を策定しております。

売上原価は、過去の各店舗の実績原価率、インターネット販売に関する実績原価率を勘案して前年度の実績と同程度の原価率を設定し、売上高に乗じて売上原価を算定しております。

販売費及び一般管理費は、各種販売促進費や人件費のほか、インターネット経費及び店舗経費等を合算して算定しております。

引き続き「トレンドに左右されない商品企画と、定番商品を人気商品化するノウハウ」を強みとして、OMOの強化等により、インターネット販売及び店舗販売等の継続的な成長を目指してまいります。

また、キャラクターとブランドを融合させたエンタテインメントビジネスの強化に向け、中長期的に取り組んでまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、国際会計基準の適用動向等、諸情勢を考慮しながら、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,832,953	1,821,493
売掛金	188,064	325,685
商品	474,143	450,932
前払費用	69,935	67,939
その他	14,233	3,441
流動資産合計	2,579,330	2,669,492
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	196,988	159,716
構築物（純額）	2,663	2,167
工具、器具及び備品（純額）	18,642	14,206
その他（純額）	—	859
有形固定資産合計	218,293	176,950
無形固定資産		
ソフトウェア	2,858	2,288
無形固定資産合計	2,858	2,288
投資その他の資産		
出資金	50	50
長期前払費用	179,980	119,159
差入保証金	118,672	129,043
繰延税金資産	35,267	45,619
保険積立金	36,969	40,236
投資その他の資産合計	370,940	334,108
固定資産合計	592,092	513,348
資産合計	3,171,422	3,182,841

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,052	103,923
1年内返済予定の長期借入金	198,336	—
未払金	172,353	241,282
未払費用	1,919	4,440
未払法人税等	78,368	61,845
契約負債	71,727	84,398
預り金	9,120	12,818
ポイント引当金	836	1,878
資産除去債務	—	1,500
流動負債合計	582,714	512,086
固定負債		
退職給付引当金	30,874	34,998
資産除去債務	56,551	49,021
固定負債合計	87,425	84,019
負債合計	670,140	596,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,961	398,961
資本剰余金		
資本準備金	388,961	388,961
その他資本剰余金	7,101	7,660
資本剰余金合計	396,063	396,622
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,740,363	1,822,696
利益剰余金合計	1,740,363	1,822,696
自己株式	△34,106	△31,545
株主資本合計	2,501,282	2,586,735
純資産合計	2,501,282	2,586,735
負債純資産合計	3,171,422	3,182,841

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	3,696,135	4,126,272
売上原価		
商品期首棚卸高	641,959	474,143
当期商品仕入高	1,062,649	1,291,130
合計	1,704,608	1,765,273
商品期末棚卸高	474,143	450,932
商品売上原価	1,230,465	1,314,340
売上総利益	2,465,670	2,811,932
販売費及び一般管理費	2,283,075	2,572,635
営業利益	182,594	239,296
営業外収益		
受取利息	882	4,035
受取家賃	480	480
受取保険金	1,115	—
未払配当金除斥益	1,036	49
その他	2	8
営業外収益合計	3,516	4,573
営業外費用		
支払利息	2,754	679
為替差損	483	—
その他	4	16
営業外費用合計	3,243	696
経常利益	182,867	243,174
特別損失		
減損損失	23,822	—
固定資産除却損	17	0
特別損失合計	23,840	0
税引前当期純利益	159,027	243,174
法人税、住民税及び事業税	96,277	101,982
法人税等調整額	△5,697	△10,351
法人税等合計	90,580	91,630
当期純利益	68,447	151,543

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	398,961	388,961	6,732	395,694	1,741,167	1,741,167	△35,857	2,499,965	2,499,965
当期変動額									
当期純利益					68,447	68,447		68,447	68,447
剰余金の配当					△69,251	△69,251		△69,251	△69,251
自己株式の処分			369	369			1,750	2,120	2,120
当期変動額合計	—	—	369	369	△803	△803	1,750	1,316	1,316
当期末残高	398,961	388,961	7,101	396,063	1,740,363	1,740,363	△34,106	2,501,282	2,501,282

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	398,961	388,961	7,101	396,063	1,740,363	1,740,363	△34,106	2,501,282	2,501,282
当期変動額									
当期純利益					151,543	151,543		151,543	151,543
剰余金の配当					△69,211	△69,211		△69,211	△69,211
自己株式の処分			559	559			2,560	3,120	3,120
当期変動額合計	—	—	559	559	82,332	82,332	2,560	85,452	85,452
当期末残高	398,961	388,961	7,660	396,622	1,822,696	1,822,696	△31,545	2,586,735	2,586,735

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	159,027	243,174
減価償却費	48,275	51,023
減損損失	23,822	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,942	4,124
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△458	1,042
支払利息	2,754	679
売上債権の増減額 (△は増加)	6,991	△137,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,563	51,670
棚卸資産の増減額 (△は増加)	167,816	23,210
未払金の増減額 (△は減少)	△62,967	68,968
その他の資産の増減額 (△は増加)	65,956	79,510
その他の負債の増減額 (△は減少)	12,173	18,652
その他	△746	△3,417
小計	436,150	401,018
利息及び配当金の受取額	884	3,455
利息の支払額	△2,754	△679
法人税等の支払額	△78,249	△118,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,031	285,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,466	△8,956
無形固定資産の取得による支出	△2,026	△154
差入保証金の差入による支出	—	△10,371
資産除去債務の履行による支出	—	△6,650
その他	△1,677	△3,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,170	△29,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△358,332	△198,336
配当金の支払額	△72,387	△69,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△430,719	△267,586
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△87,858	△11,460
現金及び現金同等物の期首残高	1,920,812	1,832,953
現金及び現金同等物の期末残高	1,832,953	1,821,493

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり純資産額	180.70円	186.74円
1株当たり当期純利益	4.95円	10.94円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	68,447	151,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	68,447	151,543
普通株式の期中平均株式数(株)	13,840,390	13,847,546

(重要な後発事象)

該当事項はありません。